

会 議 録

会 議 の 名 称	令和 5 年度第 2 回弘前市文化芸術推進審議会
開 催 年 月 日	令和 5 年 1 0 月 2 日（月）
開始・終了時刻	1 4 時 0 0 分から 1 5 時 3 0 分まで
開 催 場 所	弘前市役所前川新館 3 階 第 2 ・ 第 3 会議室
議長等の氏名	小川 幸裕
出 席 者	会長 小川 幸裕、 職務代理者 杉山 祐子 委員 岩渕 智恵、 委員 鴻野 孝典、 委員 佐藤 寿子 委員 大川 誠、 委員 武田 孝三、 委員 加藤 久子
欠 席 者	委員 古川 浩樹
事務局職員の 職 氏 名	観光部長 神 雅昭 文化振興課長 佐藤 孝子 同課長補佐 鶴巻 秀樹 同主幹兼係長 佐藤 由妃 同総括主査 木村 匡希
会 議 の 議 題	市の文化芸術振興事業の現状への意見等についてと、前回の審議会において継続審議としたポータルサイトの活動団体分類案について
会 議 結 果	下記会議内容に記載のとおり
会議資料の名称	資料 1 令和 4 年度 基本目標及び各事業の進捗・評価状況について（概要版） 資料 2 基本目標・事業評価管理シート（令和 4 年度実績等反映版） 資料 3 ポータルサイト活動団体分類（案）
会 議 内 容 （ 発 言 者 、 発 言 内 容 、 審 議 経 過 、 結 論 等 ）	1. 開会 2. 委嘱状交付 3. 会長挨拶 4. 議事 議題 令和 4 年度の基本目標及び各事業の進捗・評価状況について 資料 1 に基づき、令和 4 年度の基本目標及び各事業の進捗・評価状況について説明。 （議長） 文化芸術振興計画の進捗・評価状況について、委員の皆様から事務局

	の説明で気になった点についてご意見をいただきたい。 (委員) 基本目標 5 (資料 1 11 p.) について、歴史的資源を観光面のほか産学官金連携に活用する取り組みについて、現在の文化振興課を観光部に移管する目的として、4 大祭りと市民の文化活動をいかにつなげていくのか、という意図があったかと思うが、祭りと連携し、祭りに来た観光客の皆さんに弘前の文化芸術活動を知り、触れてほしいと考えており、例えばまつりのポスター等に掲載する事など考えているか。 → (事務局) いただいた意見については資料 2 の基本目標 1 (3 p 施策 2 気軽に文化芸術に親しむことができる機会の提供) において地域のイベントと連携した文化芸術事業の検討として掲げている。現在、具体的な取り組みには至ってはいないが、今後ポータルサイトを通して祭り期間中にイベントの紹介をすることや、秋の弘前城菊と紅葉まつりの期間中に文化的な事業を開催し、周知を行う等、ポータルサイトの作成が予算化された場合に積極的な周知活動ができればと考えております。 (委員) 観光に来た方のみではなく、市民の方も実際に地元の文化活動を把握していないケースがある。情報をまとめて出すことで、市民が弘前は文化活動が盛んである街だというような意識に変わると、参加してみたいと思う等行動も変わっていき、良い循環になると思う。また文化の街というイメージが定着することで、観光のみならず、地域に定着したいと思う事や、市に親しみを持つ方も増えると思うので頑張りたい。 → (議長) 文化と観光が結びつくことで、また市民の意識も変わっていくことは有意義なことである。 (委員) ポータルサイトの予算案が承認された場合の進行想定案であるが、1 月からのテストサイトの運用というのは、登録をしていただいた文化団体が閲覧できるということでよい。 → (事務局)
--	---

	委員よりお話いただいたとおり、登録をしていただいた方に確認をいただく意味も込めて、登録された団体へ閲覧していただく想定をしています。 (委員) ポータルサイトと各団体が既に運営しているホームページの関連はどのような想定か。 → (事務局) 想定としてはポータルサイト内に簡単な紹介ページを作成していただき、詳細は各団体へのホームページへ、ということでリンク先を設定していただく運用になるものと考えています。既にホームページなどで周知されている団体も多いかと思いますが、まずはポータルサイトを見ていただく事で、どんな活動をしているか、どんな団体がいるのかというのを一目でわかる形を目指しているため、登録いただき、詳細は各団体のホームページをご確認いただくという想定をしております。 → (委員) 市としてポータルサイト内に掲載する項目などを設定するのか。 → (事務局) サイトの構築に慣れている団体もいれば、不慣れな団体もいるので、市としてある程度の枠組みを作り、まず、その枠組みに入力していただくという想定です。 (委員) ポータルサイトを作成したあとに市としてのフォローアップについてはどのように考えているか。 → (事務局) 専任担当者を配置するという事までは難しいですが、運用していく中で、審議会のなかで審議していただき、運用方法について修正等はあるかと思います。また担当課としても、ポータルサイトの運用について配慮していきたいと考えております。 → (委員) 懸念をしているのは、作成したまま運用がされない事である。可能な限り各団体が書き込みをしやすいような運用をしてほしい。 → (事務局) 運用当初は各団体が不慣れなこともあり、掲示に時間を要するとは思いますが、極力各団体で完結できるような簡易な方法で登録できる
--	--

	よう構築していきたいと考えております。 (委員) ポータルサイトの運用について確認したい。現状イベントのお知らせや団体の紹介についての運営が中心であると思うが、地元の小中学生への地元産業の体験学習のようなものを紹介するようなページはあるのか。 → (事務局) 文化団体の活動情報のページにおいて、各団体で委員のお話する内容を受けていただく団体がいれば、掲載いただくような想定をしています。 (議長) 他に委員の方意見はあるか。 (意見無し) (議長) では引き続きポータルサイトの活動団体分類案について事務局より説明をお願いしたい。 議題 2 ポータルサイトの活動団体分類案について 資料3に基づき、ポータルサイトの活動団体分類案について説明。 (議長) 事務局から説明のあったポータルサイトの活動団体分類案について、委員の皆様から事務局の説明で気になった点についてご意見をいただきたい。 (委員) 複数の団体が合同でイベントを開催する場合は、参加した団体すべてが、サイトの修正を行う必要があるか。 → (事務局) イベントと活動団体はそれぞれ連動するというものでなくとも良いと考えていることから、合同開催イベントについては、イベント情報の更新を行っていただき、個別の活動団体のページは修正不要という運用を考えております。 → (委員)
--	--

	団体としての複数のジャンルに当てはまりそうな団体の登録はどうするのか。 →（事務局） 複数のジャンルに当てはまる団体においては自身の団体の気になるジャンルに登録いただければと考えております。 →（議長） 今の説明では複数登録が可能である説明だったが、例えば大項目の美術の他に文芸など異なる大項目に登録することも可能か。 →（事務局） どちらの項目にも載せることは可能な運用としていきたいと考えております。 （委員） 全体を見て、手踊りのジャンルも盛んなので追加してはいかがか。伝統芸能のイベントにおいては地元の祭りと関連するジャンルかと考えており、観光とリンクするジャンルは必要ではないか。 →（議長） 地域伝統芸能としてのジャンルになるのではと考えているがいかがか。 →（事務局） 地域伝統芸能の項目に追加させていただきます。 （委員） 各団体の高齢化が進んでおり、そもそもサイトへのアクセス自体が困難な方がいらっしゃると思うが対策は。 →（事務局） 団体登録の募集やサイトの発足については広報ひろさきに掲載する想定です。その後、広報を見て、サイトに団体登録をしたいがパソコンの操作が困難である団体に関しては、事務局としても、多くの団体に登録をしてもらうことが良いと考えているため、なるべくフォローをしていきたいと考えております。 （委員） スマートフォン版についてはどうか。 →（事務局） スマートフォン版については、専用のサイトということは考えては
--	--

	ございませんが、スマートフォンで閲覧する場合においても、見やすいレイアウトの構築をしていきたいと考えております。 →（委員長） 参加団体が運用を行うにあたり、説明書、手順書の作成が必要になってくると考えている。 →（事務局） 登録された団体が更新しやすくするため、用意したいと考えております。 （委員） 当団体においても高齢化が進んでいるため、スマホでのアクセスなどは困難であると考えている。それでも市民に対して呼びかけを行っているがどこまで情報が届くのか疑問がある。 →（委員長） 指摘のとおり難しい側面もあるかと思うが、やってみて課題に対して修正していく事になるかと思う。紙ベースを無くすという議論ではなく、２段階で周知を行っていく事になるかと思う。 （委員） 現在の議論は、成人の活動団体が中心となっているが、子どもたちのポータルサイトへのアクセスについても考えた方が良いかと思う。若い世代が関わっていかないと活動が続いていかない。サイトがある、という事だけでは子ども達は手を出さないのではないか。子どもの興味を引くことも重要である。 →（委員長） 指摘のとおり、文化芸術振興計画においても、子どもたちの関わりは重要なものとする。各団体様においても、来場者や子どもたちに見てもらう事や、学校へチラシを配布していく事など、子ども達の周知を考えていく必要がある。 （委員） ポータルサイトの検索者はキーワード、ジャンル検索いずれも検索できるのか。 →（事務局） 基本的にはキーワード検索で行っていただく想定です。 →（委員）
--	---

	どのレベルのキーワード検索を想定しているのか？ →（事務局） 登録していただくのは大項目に登録していただくという運用ではなく、例示している具体的な項目に登録してもらう想定をしています。大項目での検索について、例えば絵画に登録していただいた団体が美術という検索の方法で抽出されるのかというのは即答しかねますが、検索できるようになるのかは業者と確認をとりながらなるべく検索しやすいサイトにしていきたいと考えています。 →（委員） 弘前に観光に行くときに何をしているのか検索すると、情報が大量に出るような事になるのか →（事務局） イベントについては、イベントのお知らせで確認をしていただくように考えております。 →（委員） もう一点、先ほど高齢者の方が入力しづらいという意見があったが、大学生が高齢者のサポートを行って地域活動を行うといった取り組みを行っているため、将来的にはその活動を連携することで学生も文化活動への意識が高まるのではないかと考える。 →（議長） 検索は動かしていきながら修正をかける形となるかと思うが、イベント名などは検索で抽出されるか →（事務局） イベントについてはチラシなどもあるかと思いますが、名称は文字列で入力してもらう事を想定しているので、抽出は可能なものと考えております。 （委員） イベント情報が並ぶ時にイベントのジャンルが何なのかがわかればいいかと思うがどうか。 →（事務局） 想定はしていなかったが、今後の検討課題としてご意見をいただきたいと思います。 （委員） 高齢者は広報をかなり見ていると思う。広報誌への掲載は載せてほしいと申請した方だけが載せているため、あまり多くは載っていない。月
--	--

	1 でもいいので、ポータルサイトのイベント情報を印刷できないか → (事務局) 市の広報では誌面の制限というものがあるので、全てを広報に載せるというのは難しいと考えております。 → (委員長) 文化芸術のページを毎月表形式でお知らせしたいという意見であるかと思うが、誌面上だと高齢者は見やすくなると思う。最初から全てを行うというのは難しいと思うので、徐々に取り組んでいけたらと思う。活動団体分類案については概ね方向性が決まったものと考えている。ポータルサイトは振興計画においては計画の推進体制のプラットフォームとして具体にしていくものの一つと考えている。活動の周知の他、将来的には学校との連携や観光との接続、子どもの育成など、市民の方に説明をしていく場としてなっていけばよいと考えている。 他に委員の方意見はあるか。 (意見無し) (議長) その他、本日の議事に限らず、ご意見等ございませんでしょうか。 (委員) 資料2において、指標が西暦、評価が和暦と混在しているので統一していただきたい。 → (事務局) 西暦で統一させていただく事としたい。 (議長) その他、意見はないか (意見無し) 意見がないようですので、本日の審議はこれで終了いたします。 5. 閉会
その他必要事項	なし